

=====
新年明けましておめでとうございます！
=====

☆☆☆☆ 通算 第044号 ☆☆☆☆

<反腐敗とNGOの監査活動 企業のCSR対策が問われています。>

<%Name%>さん！省エネ・環境のエガちゃんです。

新年明けましておめでとうございます！今年も何とぞよろしく願い申し上げます。

しかし、今年の春節は二月の後半、まだまだ年末の続く中国ですが、新環境保護法の施行は始まっており『労働環境衛生問題』は年始より大きなうねりが始まっております！そして、それは習政権が強力に進める「反腐敗」と大きな繋がりがあるのです！

今日発表されたニュースなのですが、NGOに依る「ユニクロ下請け工場に対する調査」が行われ、SACOM社はそれぞれ「製造業者2社に対する勧告」「(株)ファーストリテイリングに対する勧告」を発表しました。

詳細は以下のサイトをご覧ください。

<http://bylines.news.yahoo.co.jp/itokazuko/20150113-00042192/>

「香港を拠点とするNGO・Students & Scholars Against Corporate Misbehaviour(以下、SACOMという)は、東京に本拠を置く国際人権NGOヒューマンライツ・ナウ(HRN)、中国の労働問題に取り組むLabor Action China(中国労働透視)との共同調査プロジェクトの一環として、中国における工場従業員の労働環境について2014年7月から11月に渡り、潜入調査を含む、事実調査を行った。」

これは中国政府が進める省エネ・環境改善の「流れ」(進め方)に合致する現象です。

※中国政府の改善の為の流れ

1. 省エネ・環境改善→第三方機構(省エネ環境サービス会社)
2. 管理と結果の把握→政府、役人
3. 維持監督→社会、人民

つまり、まさしく3番目の「維持監督活動」をこのNGO団体が担い始めたと言う事を意味するのです。

今後このような動きは益々活発化していきます。

これまでは、「腐敗」の副作用として見て見ぬふりをして通り過ぎられていた様々な悪行が白日

の下に曝される時が来たのです。

それを裏付けるかの如く、今年の1月1日には四川省政府が以下の様な発表も行っています。

<http://www.sczx.gov.cn/system/20150105/000059154.htm>

上のサイトの意味するところは以下の通りです。

四川省政府は、1月1日に『四川省首部公共機構合同能源管理方法実施』を發布し、四川省全省に存在する6.5万余りの公共機構は、合同能源管理を採用して省エネ（標準炭削減：CO2削減）を行うことを決定した。

そして、發布文には『為予防腐敗』、つまりこの政策の目的は『腐敗を予防するため』であることが明確に記されています。これは、これまでの公共事業に潜む腐敗構造を一掃するためには構造改革（腐敗を起こさせないための仕組み作り）が必要であるということを証明するものです。今後、同種の取り組みは全国的な広がりとなっていくことは間違いありません。

企業のCSR活動として「労働環境衛生改善」は避けては通れない問題です。

是非<Name%>さん！の事業所でも問題が無いか、改善作業が行われているか、隠れた問題は無いか等、外部の専門家に依頼してでも現状をご確認下さい。腐敗が残る現場では、自社内だけの体制では「膿」を探しだし取り除くことは無理な場合が多々あります。

特に、VOCに関しては厳しい取り締まりが始まっています。お気を付け下さい。

弊社にも労働環境衛生の専門家である「OHSAS180001内部審査員」が2名在籍しております。いつでもご用命頂ければはせ参じます。

事は急を要します。事が起こってからでは対応が後手後手に回ってしまう恐れがあります。

リスクを未然に防ぎましょう。